

第7回新鋭俳句賞

準賞

三面鏡

常原拓

三面鏡

- 1 立像は手から滅びぬ夏の蝶
- 2 百合の首もたげて筑摩文庫かな
- 3 草刈女草のほひを脱ぎにけり
- 4 とうすみや三角に折る廁紙
- 5 古き書によき値つきたり氷水
- 6 夏雲と思ふかたちになりけり
- 7 馬冷す天文台のよく見えて
- 8 遠雷の三面鏡にとどきをり
- 9 一枝より夜のはじまる百日紅
- 10 無花果にとぎれとぎれの眠りかな
- 11 おほかたは矩形の蕾龍彦忌
- 12 秋日傘みぢかき橋をくぐりをり
- 13 秋風や横向く指名手配犯
- 14 文士みなよき髭をもつ烏瓜
- 15 しまはれて案山子のうへの案山子かな
- 16 ことごとく譜面よごして秋収
- 17 牛カツの赤き断面浮寝鳥
- 18 一斉に鳩は左へ七五三
- 19 大根干す縁に伏せある罪と罰
- 20 切干や学生服の丈詰めて
- 21 読めぬ本読まぬ本あり冬の水
- 22 ひと跳ねのあと凍鶴となりけり
- 23 川魚を甘く煮てをる霰かな
- 24 卒業のカーブミラーに大き鳥
- 25 一本は長き雨傘紫木蓮
- 26 じゃんけんはグーではじまる春田道
- 27 唾吐きし少年兵の青き踏む
- 28 喪の家に届く鯔桶養花天
- 29 貝寄風に回す金庫の数字かな
- 30 花冷の南京錠を閉ぢにけり